



2021年12月10日

各 位

上 場 会 社 名 株 式 会 社 シ ー イ ー シ ー
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 大 石 仁 史
(コード番号 9692)
問 合 せ 先 責 任 者 経 理 部 長 中 村 義 幸
(TEL. 046-252-4111)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2021年3月12日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2022年1月期連結業績予想数値の修正（2021年2月1日～2022年1月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	50,000	5,200	5,300	3,550	101.45
今回修正予想 (B)	45,500	4,050	4,100	2,550	72.87
増減額 (B - A)	△4,500	△1,150	△1,200	△1,000	—
増減率 (%)	△9.0	△22.1	△22.6	△28.2	—
(ご参考) 前期実績 (2021年1月期)	48,003	5,048	5,158	4,036	115.37

2. 修正の理由

当社では、戦略 ICT 領域である DX、IoT、クラウド分野におけるシステム開発需要が活性化しており、前年同期比で受注残高は改善しているものの、主要顧客である製造業においては、未だ ICT 投資が抑制傾向にある事業領域も残っており業績の回復が遅れております。また、世界的な半導体の供給不足に起因するインフラ構築事業の入札不調や納期遅れ、緊急事態宣言による地方を拠点とする子会社事業の停滞なども、業績を押し下げる要因となっております。加えて、一部で発生した不採算案件の影響により減益幅が拡大する結果となりました。

第3四半期連結累計期間の業績およびその後の状況を踏まえた結果、通期連結業績予想が当初見込みを下回る見通しとなりましたので、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を上記のとおり修正いたします。なお、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、不採算案件の納期遅延により発生する顧客先既存システムの維持費用を、当社負担とすることで合意し当該費用を特別損失に計上しております。詳細につきましては、本日公表の「2022年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご確認ください。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

3. 配当予想について

今回の業績予想修正に伴う配当予想の修正はございません。

以 上